

「テレジンの小さな画家たち詩人たち展」開催のご案内

—人間の素晴らしさを伝える 12 点の写真パネル展示—

テレジンの小さな画家たち詩人たち

題字:黒田征太郎

テレジンの小さな画家たち詩人たち展

2014/5/13TUE~6/8SUN

ナガサキピースミュージアム

長崎県長崎市松が枝町7-15

入場無料

事前学習会「テレジンってなに？」

4/13SUN

① 10:30~12:30

② 14:00~16:00

長崎港松が枝国際ターミナルビル(多目的ルーム)

長崎県長崎市松が枝町7-16

入場無料

花便りの届く頃、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「テレジンを語りつぐ会ふうおか」では、ナガサキピースミュージアムにて「テレジンの小さな画家たち詩人たち展」を2014年5月13日より開催致します。

第二次世界大戦の頃、ナチス・ドイツが支配するチェコスロバキアにユダヤ人の収容所「テレジン収容所」があり、大人も子どもも辛く悲しい毎日を送っていましたが、しかしそこでは、素晴らしい〈教室〉が開かれ、テレジンの子どもたちは絵を描き、詩を綴り、生きた証を生みだしていました。その一部の写真パネルを展示いたします。

そこに、子どもたちを命がけで手助けした大人たちがいたことを知ることができます。見て知ること、生きる力、優しさ、希望など人間の素晴らしさを感じる方が多いことを、各展示場で実感しました。

なぜ長崎開催なのか？

2011年8月、九州大学でのテレジン展の折、長崎の高校生が「原爆のことは知っていたけれど、アウシュビッツやテレジンのことは知らなかった。ここに来たことで知ることができた。それが一番良かった」と話してくれました。

また、テレジンの子どもたちの絵を日本に紹介した野村路子さんが、コルベ神父を描いた原画を持っています。その絵は、コルベ神父と収容所で共に過ごした画家によって描かれたものです。

2013年11月、西南学院大学での講演会后、長崎コルベ神父記念館を訪ねました。その時に、高校生のことば、コルベ神父の絵が私たちが長崎へと導いてくれました。

私たちの思いをご理解していただき、多くの方々にお知らせして頂けることを願っています

テレジンを語りつぐ会 ふうおか

■団体の概要■2006年に絵本の活動をしているメンバーが「そよぎの会」を結成。2010年にテレジン収容所の子どもたちが遺した絵や詩の存在を知ったことから賛同者を募り、「そよぎの会テレジン実行委員会」として「テレジンの小さな画家たち詩人たち展」を福岡県内の学校や、図書館、美術館などで開催しました。2014年からは、会の名を「テレジンを語りつぐ会 ふうおか」と改め活動しています。



■テレジンを語りつぐ会 ふうおか■ www.facebook.com/teresien.fukuoka

■テレジンを語りつぐ会 野村路子■ www.teresien.jp/

■主催■テレジンを語りつぐ会 ふうおか

■共催■ガールスカウト長崎県連盟/長崎友の会

■協力■野村路子(テレジンを語りつぐ会)/埼玉平和資料館

■問合せ■ 鋤塚聡子 093-871-2280/090-9603-0952 水口和子 090-8390-3494